

ASIAGAP 認証登録を取得しました！

農業大学校では、GAPの実践を教育計画に掲げており、平成30年度から生産工程管理の講義を設けるとともに実習での実践指導を行っています。

さらにGAPを推進するために令和元年度中に「かき」を対象にASIAGAPの認証を受けることを目標としました。ASIAGAPは、GFSI（世界食品安全イニシアチブ）承認の国際規格として展開することを目指すスキームであり、国際的な要求も考慮した基準が定められており、管理点の項目は、約160あります。取得すると国際的に通用する認証を得たこととなります。

そのために、野菜果樹学科果樹専攻の学生は、整理整頓の徹底から始まり、農場管理マニュアルの作成、作業の記録、食品安全のための環境改善、労働事故防止対策などに取り組んできました。その間、先進地の視察研修、コンサルタント指導による研修会などを行いました。

そして、2月13日に、「かき（栽培面積26a）」のASIAGAP Ver2.1の審査を果樹専攻1学年生が受けました。当日は、書類を中心に適合基準の確認をしていただきました。現場は、井戸をはじめ、収穫調製及び調査を行う現場教室、柿園、資材等の収納庫、機械庫等を確認していただきました。

審査の結果、若干の不適合項目の指摘がありましたが、改善の回答を行い、3月16日に認証登録を取得しました。

認証承認の結果を聞いた「かき」担当の長谷川君は、「GAPに取り組むと手間のかかることも多く苦労もしましたが、努力が報われて良かったです。認証後の継続と改善が一番大事だと考えていますので、今後もしっかり取り組んでいきたいです。」と語っています。



認証登録証明書を手にした野菜果樹学科果樹専攻1学年学生



ASIAGAP 認証登録証明書